

参考:中国・四国エリアにおける傾向

本アンケート調査を、中国・四国エリア在住学生(n=294)に絞り、全国データと比較をしたところ以下のような傾向が見られました。

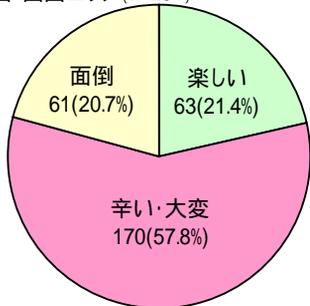
【就職活動における心理】

中国・四国エリア学生の58%が現在の就職活動を「辛い・大変」と感じており、全国(52%)の割合を上回っている。同時に、先輩の就職活動を見て「厳しい就職環境が続くけれど、自分はなんとかなる」と思っている学生は15%にとどまり、「厳しい就職環境が続くから、自分もがんばらなければならない」と感じている学生(68%)が多数を占めている。就職活動が「楽しい」と感じている学生では「辛い・大変」とした学生よりも「なんとかなる」とする学生の割合が9.4ポイント高い。また、中国・四国エリアの「がんばらなければならない」とする学生の割合は全国(67%)とほぼ同水準となっている。

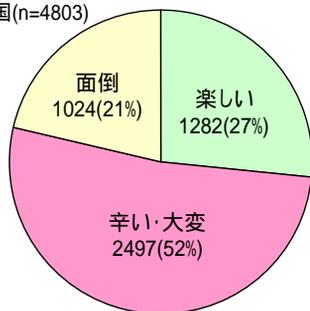
現在の就職活動に対する心境

(単一回答)

中国・四国エリア(n=294)

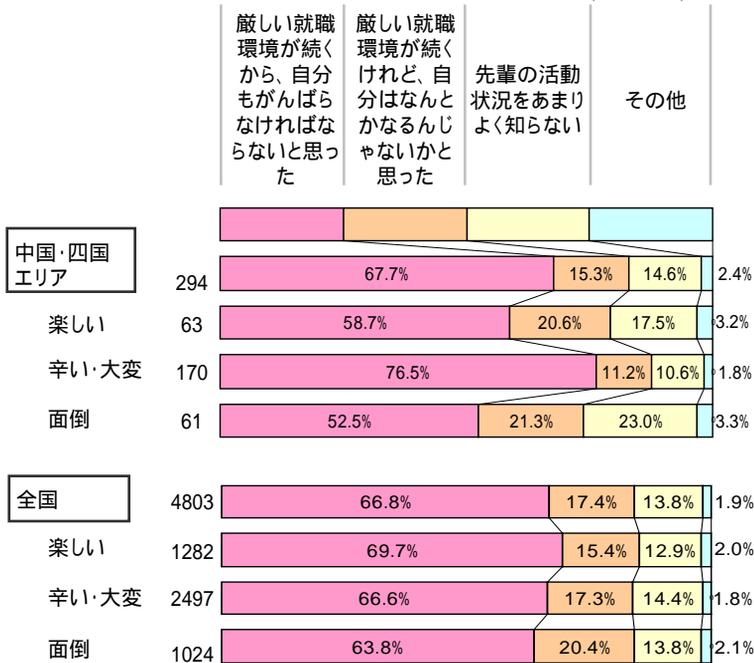


全国(n=4803)



一つ上の先輩の活動に対する印象(心境別)

(単一回答)



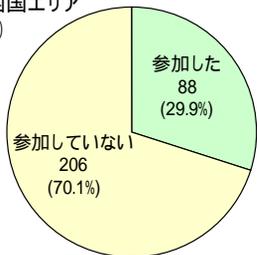
【就職活動の状況】

インターンシップへの参加は全国より約10ポイント下回る30%にとどまった。また、OB・OG訪問は全国を約3ポイント下回る21%の学生しか行っていないうえ、訪問人数が1~2人の少数にとどまる割合はOB・OGを訪問した学生の6割超と高く、全国(55%)を8.6ポイント上回る。

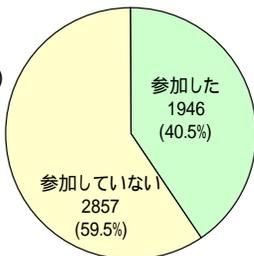
インターンシップ参加の有無

(単一回答)

中国・四国エリア(n=294)



全国(n=4803)

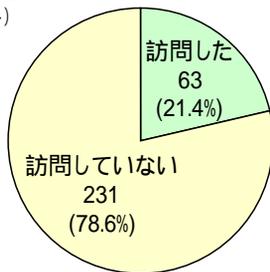


インターンシップの参加社数について問い、0社を「参加していない」、1社以上を「参加した」とした。

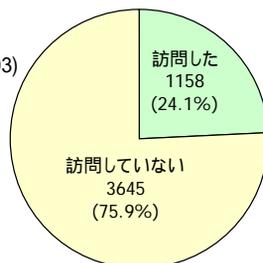
OB・OG訪問の有無

(単一回答)

中国・四国エリア(n=294)



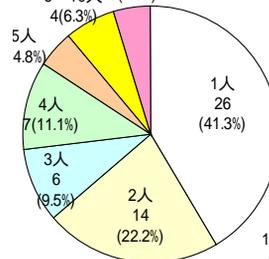
全国(n=4803)



OB・OGの訪問人数について問い、0人を「訪問していない」、1人以上を「訪問した」とした。

OB・OG訪問した人数

中国・四国エリア(OB・OG訪問「あり」学生/n=63)



中国(OB・OG訪問「あり」学生/n=1158)

